

お茶園黄



ようやく季刊誌の発行にこぎ着けました。
以前と同様、皆様に楽しんで頂けるような内容にして行きたいと思っておりますので
今後とも宜しくお願いします。

ご挨拶



月日の経つのは実に早いもので、村民の期待を担っていいたて福祉会の「いいたてホーム」が開所してから間もなく22年目を迎えようとしています。

そして、平成23年の全村避難にもかかわらず、国との厳しい交渉を得て村内でのホーム開所も続けてまいりました。これひとえに、国、県はじめ多くの方々のホームに対する熱い想いと事の重大性を前向きに捉えるということがあってのことです。そして、それ以上に職員のがんばりと情熱の賜物でありましょう。村での開所によって入居者のご家族に大変喜ばれたところです。

今後のホーム経営ですが、多岐にわたる課題が多くありますが、村の福祉の拠点であるという誇りをもって一つひとつ解決の方向へ務めていくつもりですので今後とも、皆さまのホームへのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ホームの季刊誌「茶囲夢」が何と8年ぶりに発刊できることになりました。この茶囲夢を通して、皆さまとの絆をさらに深め、ホームにご理解をいただくよう努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人いいたて福祉会 理事長 菅野 典雄



震災・原発事故から8年が経過しようとしています。

全村避難の発令、全村避難が進む中、利用者の安全・安心を考え避難しない方向を選択し7年間頑張ってきました。

当初、2～3年の避難と思っておりましたが、7年と云う長きに亘った影響、続く風評の影響もあり、残った職員は約3分の1と云う状況になっております。

昨年3月31日に長泥行政区を除く区域が避難解除となりました。法人として、入居者の増、在宅部門（ショートステイ、デイサービス、訪問介護、訪問入浴介護等）の再開を計らなければならないと思っておりますが、介護員不足により今のところ中々難しい状況です。また、法人としても、人材確保が最大の使命と、考えられる様々の手を尽くしておりますが、解決に至るまでにはなっておりません。

このように厳しい状況にあっても、今、入居されている方々の介護においては、常に尊厳を保ち、サービスの質を落とさない努力を続けております。

村民の皆様をはじめ、ご家族の方々等の支援を背に、村の老人福祉の砦として、法人役職員が一丸となり復旧に努め、そして在宅の再開に向け前進して行く所存です。

特別養護老人ホームいいたてホーム施設長 三瓶 政美

入社4年目を迎えて 介護士 高野 拓巳



いいたてホームに介護福祉士として入社し、早4年目を迎えます。
専門学校に進学し、実習先の一つに「いいたてホーム」がありました。
当時の飯舘村は、全村避難と云う状況で、震災の傷跡も強く残っており、
風評被害もかなり大きかったことを覚えています。

私は、隣の川俣出身ですが、ニュースや新聞等で知る限り、正直「とても近寄れない」と云うのが本音でした。

ある時、いいたてホームは村に残り利用者を守り続けていると云うことを知り、衝撃を受けました。「何故、避難していないのか。」「飯舘村は・いいたてホームは・今どうなっているのか。」を知りたい一心でいいたてホームの実習を希望しました。

約1か月間と云う短い期間でしたが、利用者と職員の温かさ、そして何より職員一人ひとりの強い想いを知り、実際に自分の目や身体で見たもの・感じたものは、それまでの自分自身の考えを180度変えるものとなりました。

今は避難が解除されたものの、帰還者の多くは高齢者が中心であることから、今まで以上にいいたてホームの存在が重要視されると思います。ただ、残念なことは、未だに間違った情報や意見があると云う事実です。私は、メディアの情報が全てではないように思います。

実際、この地に来て・見て・触れ、何かを感じ取れることで、自分の何か思っていたものが変われるかも知れません。そして、飯舘村、いいたてホームの現状を、正しく皆さんに知って欲しいのです。いいたてホームが変わらず続けてきた介護を、私たちは今後も継続、繋げて行きたいと強く思います。

笑顔が絶えない施設づくりを目指して

主任介護士 小林 明美

何々が無いから出来ない、施設だから仕方ない等、諦めることはせず、当ホームらしさを継続するため、あたり前のことが自然に出来るよう日々努めています。

そして、いつでも、どこからでも”笑顔”や”笑い声”の絶えない家を目指しています。

今回、新しい試みとして、ミニデイを始めました。これは、ユニット間交流の一環として、各ユニットを離れ、別の場所で季節ならではの作業等を通し、1日を過ごして頂く内容のものです。初めは戸惑っていましたが、今ではミニデイが来るのが待ち遠しいようです。



(隣の家長とハイポーズ)



(語り合いながら昼寝)



(足湯 楽しいね)



(浴室の壁絵作りました)



(たまにはビールの気分！)



(美味しいパンはどれ？)



(鼻歌で昼食の準備です)

花見ドライブ

(4月 隣町にある花工房へ!!)



節分

(鬼は〜外!!)



雛まつり

(記念写真の後は、お寿司を囲みながら昔話しに花が咲く!!)



七夕

(短冊飾りの後は、流しそうめん! うまい)



誕生会

(誕生日は、その人のために!!)



夏まつり

(8/5 8年振りに屋外(前庭)で実施!!)



運動会&芋煮会

(11/3 汗を流した後は、美味しい食事!!)



(豪華な料理がすら〜りと並び、何から食べようか迷いそう)

餅つき

(12/28 皆で餅つき!! はやく食べたいよお〜)



日常生活

(皆さんに支えられ、日々楽しく過ごしています)





職員募集

ここからはじめてみませんか

将来の福祉関係の担い手として、
また、人と人が向き合え、人生を学び語り合える
そんな遣り甲斐のあるこの場所で共に働いてみませんか！

募集職種 介護職、看護職

勤務条件 週 40 時間、賞与年 2 回、退職金制度有、社会保険加入、有給休暇有

基本給 正 職 資格保有者（介護士・看護師）で新卒の場合
144,000 円～ その他、通勤手当、扶養手当等有
（※ 介護職・看護職の経験者や、他の職種でも前歴のある場合は、その職歴年数等により基本給を確定しますので、上記基本給に経験年数分が加算された金額となります。（経験年数加算方法は法人の決めによる）

パート 時給 830 円～（有資格者）、時給 800 円（資格なし）
その他通勤手当等有

※ もっと詳しく知りたいと思った場合は、気軽に（0244-42-1700）お問合せ下さい。

※ 事前に施設や業務内容を見てみたい等ありましたら歓迎いたしますので、連絡をお願いいたします。

（※当法人では、施設の近くに3棟の社宅を準備しております。（現在2号棟空）



1号棟



2号棟



3号棟

編集後記

長い間発行できなかった茶団夢でしたが、ようやく8年ぶりに復活、皆さんにお伝えすることができ嬉しい限りです。

ここに至るまでは、色々なことがあり過ぎて、一言で表すことはできませんが、同じ志を持つ仲間（職員）が居たからこそ、ここまでやってこれたのだと思います。

これからも、皆が普通に、楽しく、笑える職場を継続できたらと思います。

話は変わりますが、震災以後、福岡からこの施設にやってきた青年も、早5年になります。

なんと、ここに根を張り、今では一児のパパとして日々頑張っています。今、こうして活躍できるのも、偏に奥様の内助の功があったことだと思えます。

これからも宜しくお願いたします。

発行 社会福祉法人いいたて福祉会 〒960-1803 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢 571
TEL 0244-42-1700 FAX 0244-42-1710
E-mail : iitatehm@iitate-home.jp http://www.iitate-home.jp